

## 上田 (宗片) 先生「ご受章おめでとう」

平成 27 年春の叙勲において、上田邦義会長が「瑞宝中綬章」を受章されました。会員その他多くの方々からのご祝辞を、先生のご了解を得て、まとめて掲載させていただきます。なお、エッセイ風のものや、その他、論文等は、上田先生の「返礼の言葉」の後に、別に掲載させていただきます。掲載お断わりできなかった方もありますが、お許しくさせていただきますよう。

なお、その前に先生の略歴をご紹介します。

### — 編集人

#### 上田 (宗片) 邦義教授略歴

- 1934 (昭和 9) 山形県温海町 (現鶴岡市) に生まれる。
- 1941 (昭和 16) 国民学校 (現小学校) 1 年、太平洋戦争勃発。
- 1945 (昭和 20) 国民学校 5 年、日本敗戦。
- 1953 山形県立鶴岡南高校卒業。
- 1959 東京教育大学文学部英文科卒業。在学中より R. H. ブライズ教授に師事。
- 1964 同大学院修士課程修了。観世流梅若万紀夫 (現万三郎) 師に師事、謡曲・仕舞の稽古を始める。12 月 28 日、ブライズ教授逝去 (享年 65 歳)。
- 1967 静岡大学教養部講師。翌年助教授。
- 1973-75 ハーヴァード大学フルブライト研究員 (英文科)。エマソンホールにて英語仕舞「ハムレット第一独白」舞う。
- 1974-75 タフツ大学・マサチューセッツ大学講師 (演劇学科)。両大学にて英語能「羽衣」ほか実験公演。
- 1978 静岡大学教養部教授、その後人文学部教授。県立静岡大学講師、日本大学講師、ネブラスカ大学フルブライト教授、放送大学講師、等を歴任。1998 年、静岡大学退官、名誉教授。この間、シェイクスピア原文による英語能「ハムレット」「オセロー」「マクベス」(節付は観世流) 等を創作、自らシテを演じて、国内また欧米アジア各地で公演。また、1992 年、日本語シェイクスピア能「能・オセロー」創作、本邦初演、シテ津村禮次郎師。
- 1999 日本大学大学院総合社会情報研究科 (通信制大学院) 教授。
- 2000 「国際融合文化学会」(ISHCC) 設立 (会長)。翌年、日本大学より博士号 (国際関係) 授与。2006 年、退官。以後講師 (-2015)。
- 2015 「瑞宝中綬章」受章。

#### 主要著書：

- 『ホップズ』中央公論社 (世界の名著『レヴァイアサン』永井道雄と共訳) 1971.
- 『*Selected Scenes from Shakespeare: Hamlet and Othello*: シェイクスピア名場面集：ハムレット・オセロー』(北星堂、1979)
- 『*Hamlet in Noh Style*: 英語能ハムレット』(研究社、1991)
- 『*Noh Othello*: 日英二か国語による「能オセロー」創作の研究』(勉誠社、1998)

*Noh Adaptation of Shakespeare* (Hokuseido, 2001)

『ブライズ先生、ありがとう』（三五館、2010年）

**主要論文：**

“Some Notes on Noh Dancing”, *Theatre Research International*, Oxford U.P., 1982.

“Some Noh Adaptations of Shakespeare”, *Performing Shakespeare in Japan*, Cambridge U.P., 2001

**主要新才能：**

英語・主演：*Noh Hamlet, Noh Othello, Noh Macbeth.*

日本語・作演出：『オセロー』『クレオパトラ』『トマス・ベケット』『ハムレット』『人形の家』『リア王』『ポトマック桜』ほか。

## お祝辞

・上田先生、大変すばらしい瑞宝章の受章、おめでとうございます。12・3年前、米沢の「伝国の杜」において「英語能ハムレット」を公演していただきましたが、今度は是非、高島においても、先生の美しい英語能の舞いをご披露いただきたく存じます。これからも、お身体に気をつけられてご活躍くださいますようご期待申し上げます。

秋友芳・貴美子（山形県高島町）

・「瑞宝中綬章」の受賞をお祝い申し上げます。ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。  
4月吉日

秋山怜（埼玉大学名誉教授）

・みどりしたたるような五月、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この度は「瑞宝中綬章」の叙勲、まことにおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。この叙勲は先生の長い間の努力の結晶であります…先生のますますのご活躍と御健勝をお祈りします。

秋山正幸（元日本大学常務理事・国際融合文化学会（ISHCC）顧問）

・ご受章おめでとうございます！私も本当に嬉しく存じます。記念号とのことで、論文を書かせていただきます。

芦田ルリ（東京慈恵会医科大学准教授）

・このたびは叙勲おめでとうございます。今朝、このビッグニュースが風間さんから届きました。同級生として大変うれしく、誇らしく思います。八十路の足下を照らす頼もしい一灯になさって、いよいよご健勝にてご活躍されんことを祈ります。まずは祝辞まで。

麻生哲郎（画家、鶴岡市出身）

・上田（宗片）邦義様 「瑞宝中綬章」の授賞、誠におめでとうございます。4月29日の新聞を見せていただきました。先生の授賞は大変おめでたいことで、私ども「ふるさと温海会」会員の励みともなりますので、『会報あつみ』でもご紹介させていただきます。わが故郷の誇りです。

五十嵐長次（ふるさと温海会会長、ISHCC会員）

・宗片先生、素敵なメールありがとうございます。ここからお祝い申し上げます。今までの長い道のりの中でのさまざまな出来事、またその中での方との巡りあい、いろいろな思

いがこみ上げたことと思います。夢が現実となったその瞬間、最高の幸せを実感されたことと思います。本当にうれしいメールありがとうございます。

**磯部まり (在英国)**

・この度は、「瑞宝中綬章」の御受章、誠におめでとうでございます。先生の功績と業績に深く敬意を表し御受章を心よりお喜び致します。大倉にも転送し、知らせております。重ねて心より御祝い申し上げます。

**伊藤典子 (大倉事務所)**

・ご叙勲、大変おめでとうでございます。心からお喜び申し上げます。先生の情熱と長年のたゆまぬ努力の賜物と存じます。本当に誇らしく嬉しい気持ちでいます。先生が夢の中で陛下とご一緒なされたというエピソードに胸が熱くなりました。先生には私が大学で学生さんたちに教えるうえで、大変役立つことを沢山お教え頂いております。思えば大学院でご教授頂いてから随分と月日が経過しましたが、先生のお話して下さったことを私なりに実践させていただき、今に至ります。その中の一つは、楽しい授業をすることです。今日の授業は素晴らしく楽しかったと受講者の方が感じてくれるような授業をするように毎回思っております。私の笑顔や楽しい気持ち、学生さんの笑顔につながり、教室が明るくなるような、そんな時間を共有できたと実感するときは、とても幸福になります。もし先生にお会いしていなかったら、わからなかったであろうと思う多くの事柄に気が付くとき、私もそれを学生さんたちに伝えていくことができたなら、どんなに素晴らしいことでしょうか、そう思い嬉しくなります。先生の叙勲のニュースに接し、とても誇らしい気持ちでいっぱいです。お忙しい毎日と存じますが、どうぞご自愛くださいませ。

**ウォータース雅代 (弘前大学講師、非常勤)**

・上田先生におかれましては、このたびの春の叙勲にて「瑞宝中綬章」の栄に輝かれましたこと、誠におめでとうでございます。・文化的平和国家日本を願う中、この度の叙勲誠におめでとうでございます。ブライズ先生と共に天皇陛下にご拝謁されることに、深い感謝感動、そしてさらに新たな道を開かれることと信じます。

**梅内千秋 (東京都)**

・父から受章の話を伺いました。おめでとうでございます。I was so excited when I heard about this prize!! 先生には大変お世話になっておりますから、自分のことのように嬉しく思いました。先生と知り合えて本当に嬉しく思っております。・・・陛下が気が付かれたら更に嬉しいですね。5月6日の「融合文化学会発表会」での「井筒」は、大分前回と変わりましたから、気に入って頂けるよう頑張ります。

**梅内はるか (コンテンポラリーダンサー)**

・五月晴れのお天気に相応しい嬉しいお知らせをお届け頂き有難うございました。先生の永年に亘るご研究のご褒美でございますね。どんなにか誇らしく清々しいお気持ちでいらっしゃる事か。心からお祝い申し上げます。万三郎からもくれぐれもよろしくお伝えするよう申しつっております。今後共益々のご活躍を祈念しております。おめでとうございました。

**梅若聖子 (梅若研能会)**

・このたびの叙勲、本当におめでとうでございます。親子で本当に嬉しく思っております。これまでの先生のご研究の賜物が見事に開花されたもの、御同慶の念にたえません。先生のような素晴らしい方とお知り合いになれたことを嬉しく思います。この度、先生の「英語能ハムレット」キリのお仕舞を拝見でき、融合文化学会に参加して本当に良かったと思っております。You

Tube にアップされていた英国マンチェスターでの“Noh Hamlet” 27分短縮版も拝見させて頂きましたが、実際の公演も拝見させて頂けるチャンスがありましたら、大変嬉しく存じます。

遠藤花子（大学英語講師）

・この度の叙勲、誠に御目出度う御座います。これを機にこれから益々活躍される事を嬉しく存じ、小生もあやかれます様に精進致します。

大倉正之助（大倉流大鼓方）

・長年のご功績に対する栄えあるご受勲を心からお祝い申し上げます。先生は常に笑顔で日ごろから様々な方々に声をかけてお能の普及に勤められています。ある時は国立能楽堂に出向き、外国の方々にお能を理解しやすいように自ら英訳した小冊子を配布してみえました。またある時は熱海の市場の方々に気さくに声を掛け、さりげなくお能のお話をされます。私自身もこのように先生に声をかけて頂き、お能に興味を持つようになりました。このような日頃からのお能を普及しようという小さな行動の積み重ねが、今回の受勲の根底になったのだと思います。先生がお能に対して語られる言葉は、常に観客の立場に立ったものであり、理解しやすく観客を喜ばせるためにどう演出したら良いかを自問自答してみえます。その根底には、シェイクスピア能に限らず日本のお能の世界全体の未来を明るくするための決心がお有りになるのだと思います。先生の最新作「能・ロミオとジュリエット」の公演が近日に予定されているとお聞きしております。更なるご発展ご飛躍なされますようお祈り申し上げます。これからもお体に気をつけられ、末永く、日英両語の新作能公演、そしてご教授、宜しくお願い致します。

大山敦彦（静岡県函南町）

・心から、お祝辞を申し上げます。今後とも、ご指導よろしくお願い申し上げます。

大山季代子（函南町）

・東京を出る前に新聞でご叙勲の報道を目にしました。これまでのさまざまな活動を含めてのことと存じます。おめでたくお慶び申し上げます。門井氏が会を計画してくれているようで祝杯を挙げましょう。改めてご祝辞を書かせていただきます。

岡本靖正（元東京学芸大学学長、ISHCC 顧問）

・先生、お祝いメールが遅れまして大変申し訳ございません。この度は春の叙勲、おめでとうございます。実は本校の前理事長も昨年度に叙勲をいただき、3月にそのパーティーに出席したばかりでした。ダブルで嬉しい限りです。私は現在3年生（特別進学クラス）の担任で、また進路指導や入試広報として日々飛び回っております（今日も横浜でした）。先生も体調など崩されないよう、ご自愛下さいませ。

笠井洋幸（静岡市、高校英語教師）

・「上田邦義さんの叙勲を祝す」

静岡大学名誉教授の上田邦義さんが春の叙勲で瑞宝中綬章をお受けになったと知り、友人の一人として心より祝意を表します。叙勲というと大方は行政面で功績のあった人たちが対象になっており、大学関係者でも学内行政に関わった人のほうが、そうでない人たちよりも優先されているような印象を受ける。学術・研究面では、文化勲章、学士院賞、恩賜賞、その他の賞が別にあるが、上田さんの場合、大学の行政面で功績があったとは聞いていないから、今度の叙勲は、思うに、『ハムレット』を始めとするシェイクスピアの一連の作品を「能・シェイクス

ピア」として英語の台本を書いて演出し、また演じるという多年にわたる活動に対するものであろうと独り理解している。融合文化をモットーに「能・シェイクスピア」を国内はもちろんのこと、欧米各地で上演し、また「国際融合文化学会」を率いて長年にわたって活動を続けておられる上田さんの今後ますますのご活躍を祈って止まない。

門井昭夫 (健康科学大学名誉教授)

・ご叙勲おめでとうございます。ますますのご活躍をお祈りいたしております。

亀山恵 (静岡市)

・栄えある勲章受章を心からお祝い申し上げます。国家及び公共のためなお一層のご活躍をお祈り申し上げます。

川勝平太 (静岡県知事)

・この度の受勲の吉報、心よりお祝いを申し上げます。長年にわたるご精進と天才の結実、今回のご授章、ただただうれいす。今後ともお体に気をつけてご活躍を。

川田基生 (名古屋大学講師)

・この度の先生のご慶事、心よりお祝い申し上げます。さらに天皇とお話しされた由、お慶び申し上げます。今年は先生にとって最高の年ですね。今後もお元気で活躍なさいませう、願っております。

川地美子 (元杏林大学教授、ISHCC 名誉会員)

・上田先生 受章おめでとうございます。勤務校の運動会が終わり、久しぶりに事務局からのメールを見てびっくりしました。先生のご活躍を願っております。では、失礼いたします。

川又紀夫 (日大通信制大学院 3 期生)

・叙勲おめでとうございます。新聞でも拝見しました。先生が叙勲を受けられるのは私達教職子の誇りです。先生の日々の精進が改めて公に認められたのだと思います。文化の創造に寄与する先生の業績は、今日の世界状況の中でますます大切なものになっていると思います。これからも私達をお導き下さい。・今朝、先生からのメールを受け取りました。

「政府よりは受けざらましを 平和祈る陛下よりなれば榮譽の極み

「わが胸に『ブライズ先生』持ちたれば 陛下近づきお言葉賜ふ

陛下との対話の喜びが素直に句の中に表現されていると思いました。「先生らしいなあ」とも思いました。陛下もきっと先生とお会いできたことを、お喜びになられていたと思います。ブライズ先生の兄弟弟子との初対面になりましたね。「平和」を信条とされている者同士の連帯感もおありだったと思います。今後も健康に留意され、ご活躍頂くことを祈念致します。誠にありがとうございました。

木佐貫洋 (日大通信制大学院 1 期生、大阪市)

・南フランス、ニース空港に着いた時には、これからいよいよ「能ハムレット」の公演に向かうのだという緊張感で、12月の寒さが一層身を引き締めた感じがしました。2012年、ちょうどクリスマスを迎える時期で街は華やかに輝いていました。上田先生、大山敦彦さんと私の3人で、モナコ、カンヌでの公演に心をときめかせていたのでした。Jean-Claude BAUMIER (ジョン・クロード ポーミエ)さんは仏日協会カンヌ支部の会長を務められていて、この時のカンヌでの公演に大きな力を貸して下さいました。その彼が日本から叙勲され旭日双光章を受章されたのは2011年秋のことでした。長年の仏日文化交流に寄与された功績が認められました。

私が在任していた間、ポーミエさんとは親しいお付き合いがあったので、その時の喜びは格別でした。そして、この5月13日、春の叙勲で上田先生が瑞宝中綬章を受章され、すぐにそのことをポーミエさんにもお伝えし、熱いメッセージが届きました。「**Félicitation à Ueda sensei.** 上田先生、おめでとうございます」。私にとっても再び自分の身近な方が、誇りある章をいただいたというのは嬉しい限りです。『ブライズ先生、ありがとう』に託された精神を常に持ち続けられ、国際融合文化学会の活動などを通して、その考えを広められている確固たる生き方に敬意を表したいと思います。「シェイクスピア能」の先駆者でもあり、世界各地で公演を続けておられます。どれだけの国の人達が先生の新しい融合文化の触れ合いに心動かされたことでしょうか。これまでのご苦労と功績が高く評価されたのです。本当に栄えあることで、学会会員の私達にも大きな勇気と励みをいただきました。**Félicitation!** ますますのご活躍を心よりお祈り致します。世界にシェイクスピア能を広めていって下さい。

木下恵美子（フランス語通訳、元コートダジュール日本語補習校校長）

・春の叙勲の瑞宝中綬賞おめでとうございます。本日の新聞紙上で確認をしました。これまで取り組んできた努力の積み重ねが認められて表彰されることになり、この上なくお慶びのことと存じます。今後ますます精進されることを心よりお祈り致します。

木下裕一・美佐子（東京都）

・この度のご綬章誠にありがとうございます。勲章伝達式後の陛下ご拝謁の時の事、何と凄いいことでしょうか。感激致しました。実は先生の御著書『ブライズ先生、ありがとう』のことを知らないでいました。いつかチラッと先生のお言葉の中にあっただと思いますが、御著書のタイトルであることが判らなかったのです。早速注文し、今さっき届きました。これから拝読させていただきます。また今後の先生のご予定、益々の実りの時のご活躍とご発展に驚いております。来年はシェイクスピア没後400年への更なる展開を心よりご祈念いたしております。現在の政府のやり方は絶対に許せません。日本のこれからの進む道、平和憲法についても是非ご発言を願いたいと望んでおります。今年は何か特別の年なのか、悪いことも極端に、しかし先生のご綬章など善いことも大きく広がることを教えてくれているように思います。益々のご活躍をお祈り申し上げます。

熊谷えり子（山波総合文化財団代表理事、鎌倉市）

・貴方の叙勲は誠にお目出度いことです。さて今日は横浜の「みなとみらい」での憲法記念日の集会に行ってきました。約三万人を越える参加者で、大江、澤地、落合、長妻、志位、吉田、山本太郎、の皆さんがはなしました。護憲反戦も頑張りましょう。

郡山直（東洋大学名誉教授、詩人、ISHCC名誉会員）

・上田邦義会長の叙勲を祝す（歌十首）

ハムレットを能楽にのせ上演し世を驚かす君のアートよ  
美しい沙翁の台詞がしずしずと白足袋に乗りホールに響く  
英国のチェスター大のスタジオで君が演じた能ハムレット  
文学もアートも言語もすべてみな融合させる君の体よ

我が国の能と沙翁の美しい声融合する新しい芸  
 詩を生きたブライズ先生の精神を受け継いでいる君の人生  
 人生の真の喜びは酔うことだブライズ先生の詩の魔法のなか  
 我が国と英国結んだ師とお弟子ブライズ先生と上田邦義  
 持てる知恵感性才能十分に活かし文化の交流に寄与  
 長年の価値ある文学活動が高い評価で榮譽ある叙勲

郡山 直

・上田さん、叙勲の榮譽に際しましては、ブライズ先生と貴方の関係、ブライズ先生と皇室との関係が結び合って、天皇陛下が貴方を直接、確認されて、お言葉をお掛けになったのですね。ほんとに貴重なご経験でしたね。これは貴方の今までの真心のこもった誠実かつ積極的な人生の生き方によるものと思います。心から称賛いたし、祝福いたします。ほんとにおめでとうございます。これからどうぞご健康にお気をつけてご精進下さい。北星堂の中土順平社長がいつも、宗片さんが、宗片さんが、と言って話題にしていたことを思い出します。 郡山 直

・上田先生、おめでとうございます。先生の益々のご活躍を期待致しております

古波蔵剛 (筑波大学大学院博士課程)

・宗片(上田)様 ご綬章、心よりお慶び申し上げます。

小林嗣昌 (小林能装束)

・この度は栄えある「瑞宝中綬章」のご綬章、誠におめでとうございます。心よりご祝辞申し上げます。今後とも健康に留意され、一層のご活躍をお祈りいたします

斎藤正志 (鶴翔同窓会長、鶴岡市)

・受賞おめでとう、天皇の言葉をいただくなど、すごい名誉ですね。記念号とのこと、ブライズ先生のことはずっと考えていますが、まとまった物が書けるかどうか、トライしてみます。 ・ブライズ先生の学風は、貴君のように身体的な能の形でしか継げないのではないかと思います。それを見事おやりになったことに感銘を受けます。

斎藤衛 (大阪大学名誉教授)

・叙勲おめでとうございます。継続の力が高い評価につながり、本当におめでとうございます。さて、現在「日本シェイクスピア劇上演年表」のまとめに入っております。能シェイクスピアの上演もできる限り、取り上げておりますが、年表では年月日をできるだけ記載することを目指しております。わからないものは空欄等で対応中です。能シェイクスピアについても川田先生の博士論文で初めてリストアップされているものがありますが、月日まで記載されているものがほとんどありません。もしこうしたものが記載されているものがありませんでしたら、ご教授いただければ幸甚です。今回、荒井先生にお見せするには間に合いませんでしたが、まずは活字化して、その後、さらに整理をしたいと考えております。

佐々木隆 (武蔵野学院大学・大学院教授)

・中伊豆は香り豊かな新緑の世界です。田畑には農夫の姿があつてのどかです。この度は教育研究功労者として、瑞宝中綬章の叙勲、誠におめでとうございます。正に春の歓びです。これまでの実績が高く評価された証です。静岡大学、日本大学での教育と研究の活動が、加えてシェイクスピア能など誇るべき実績です。長年のご苦勞が天皇陛下のお目にとまった由、最高の

感激と信じます。これからも健康にご留意くださり、活躍を祈っています。

**佐藤三武朗（前日本大学国際関係学部長・副総長、ISHCC 名誉会員）**

・この度は叙勲の栄に浴され、心からお祝い申し上げます。長年の地道な活動と研究の成果の現れですね。昨年沼津に居る叔父が受勲しましたが、連続で身近な方が勲章をいただく事は本当に自分の事のようにとても嬉しく感じます。同時に上田先生の前で歌わせていただいた事もとても誇りに思っております。先生の今後益々のご活躍と「世界の文化の調和と融合」学会の発展を心よりお祈り申し上げます。・陛下とお言葉を交わされたとは本当に素晴らしいですね。ブライズ先生も又喜んでおられるのではないのでしょうか！今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

**佐藤眞弓（山形県山辺町）**

・上田先生 おめでとうございます！いつかこの様な日が来ると予想していました。心からお慶び申し上げます。・5月13日、ご授章の日は、紋付袴羽織、着付けのお手伝いには是非参上させていただきます。そしてその後、国立劇場での授賞式に同行させて頂けたら光栄です。（皇居へは伺えないのが少々残念ですが・・・冗談です）。学会誌は特別号とのこと、小論「英語能ハムレット」を掲載させていただきます。

**杉澤陽子（観世流能楽師、日大大学院5期生）**

・上田先生、おはようございます。今朝新聞で拝見しました。「瑞宝中綬章」受賞おめでとうでございます。すばらしいですね。心よりお祝い申し上げます。今後先生が、益々ご活躍されることをご祈念申し上げます。本当におめでとうございます。

**杉山利勝（熱海市平和通り「すぎやま」）**

・爽やかな大変よい季節を迎えられ、お健やかにご活躍のことおよび申し上げます。この度のご叙勲まことにおめでとうでございます。先生の多年にわたる、とくに世界に日本の伝統文化を示された先導のご功績によるものと思っております。われわれの誇りでもあります。ご叙勲を機会にますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

**瀬在幸安（元日本大学総長、ISHCC 名誉会長）**

・五幕形式の『英語能ハムレット』を1983年、東京矢来能楽堂で観能して以来、宗片（上田）先生のシェイクスピア能の大ファンになりました。今後も益々のご活躍をお祈り申し上げます。

**平辰彦（尚美学園大学講師）**

・ご授章おめでとうでございます。先生のお歌「わが胸に『ブライズ先生』持ちたれば 陛下近づきお言葉賜ふ」授賞式の情景が目浮かびます。陛下とお話が弾んだでしょうね。ブライズ先生が取り持つ縁を感じます。新聞掲載記事からも先生の素晴らしさが理解できます。

**高倉美代子（奈良市）**

・宗片さん、この度は叙勲の栄に浴され誠におめでとうでございます。心よりご祝辞を申し上げます。今後とも健康にくれぐれもご留意の上、一層のご活躍を祈念いたします。

**竹澤雅二郎（鶴岡南高同期、川越市）**

・台風接近中らしき初夏の気配です。メール拝読。うれしいニュースでした。本当によろしいございました。素晴らしいですね。ブライズ先生も空の上からきっとお喜びでしょう。今上天皇もやはりブライズ先生への思いはひとかたならぬものがあったのでしょうか。受勲もお声をか

けられたことも、つくづく「ブライズ先生、ありがとう」ですね。わずかながらでもご本づくりに関わることができて、我がことのようにうれしいです。数ヵ月前に見られた夢は更に発展的に実現しましたね。益々お元気にご活躍ください。 **田中清行**（編集者、柏市在住）

・このたびは瑞宝中綬章受勲おめでたうございます。受章に関しては学会の出席者からお聞きしました。下記の伊豆新聞に写真入りで出てみます。

<http://izu-np.co.jp/feature/news/20150429iz0004000116000c.html>

益々お元気でご活躍されることと思ひます。 **玉置知彦**（奈良市）

・ご綬章お芽出とう御座います。私の英語能は完成する日がくるのか判りませんが、よろしくご指導お願いします。 **垂水健児**（群馬県太田市）

・素晴らしい勲章を頂戴されたこと、心からお喜び申し上げます。どうぞ世間のためにもっと頑張ってください。ご健康を祈ります。

**陳鵬仁**（中国文化大学講座教授、東京大学国際関係学博士、台湾、ISHCC 名誉会員）

・これはこれは大変おめでとうございます。長年のご業績の賜物と存じます。心より御喜び申し上げます。 **津村禮次郎**（観世流能楽師、ISHCC 名誉会員）

・瑞宝中綬章、まことにおめでとうございます。素晴らしいです。恩師がそのような賞を受賞なさるとは、本当に喜ばしいことです。まだご存じない同期にも、ご報告させていただきますね。また、改めて、お目にかかりたいと存じます。先生のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。本当におめでとうございます。 **外村佳代子**（日大通信制大学院 5 期生）

・瑞宝中綬章のご綬章、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。今後ともご健康でご活躍されますようお祈り申し上げます。日英二か国語での謡曲教授、これからもよろしく願いいたします。 **中村友紀**（関東学院大学経済学部准教授）

・この度は「瑞宝中綬章」受章のお祝詞を申し上げる光栄に浴し、勿体なく存じております。昨年わたしのいけ花の研究発表を、先生は大変喜んでくださり、嬉しく思いました。「柔能く剛を制す、剛能く柔を断つ」と言います。高潔で、花ならば菊花でしょうか。先生の益々のご活躍とご健勝を、心よりご祈念申し上げます。 **西垣和子**（山月光輪花、熱海市）

・この度は大変おめでとうございます。先生がお元気でご活躍のご様子を陰ながらいつも見させていただいております。 **畑江美佳**（鳴門教育大学准教授）

・この度の、永年のご尽力による成果・功績が認められての叙勲の栄、心より慶賀申し上げます。今後ともご健康にご留意の上、文化向上にご活躍なされることを祈っております。

**古田清司・章子**（八王子市）

・このたびはご叙勲おめでとうございます。6日に参上してお祝いを申し上げたいところなのですが、あいにく介護等所用が続いてしまい、秋の学会にはぜひと思っております。誠におめでとうございます。 **星野裕子**（東京薬科大学教授）

・上田（宗片）邦義先生、瑞宝中綬章のご叙勲、おめでとうございます。私は静岡大学人文学部在学時に先生の授業に参加させていただきました。その時のことは今でも明確に覚えております。先生が「能ハムレット」のお仕事に取りかかれたちょうどその時期であったと思いま

す。授業では二つのことをやりました。一つは先生が編集された『ハムレット』名場面集を読み、シェイクスピアの言葉を理解すること。もう一つはお能の謡や仕舞の基礎を教わることでした。確か観世能楽堂にお能鑑賞に連れて行って頂いた記憶もあります。『ハムレット』の中から気になる場面を選び、それを実演してみることを先生は前期の課題として提案されました。当時演劇サークルに属していたこともあり、調子に乗った私は、シェイクスピアを読み解く学問的な関心よりも、友人たちと一緒にのる実演部門に力を入れました。衣装、謡、仕舞、それぞれをそれなりに見せようとバカなことを考えたのです。衣装として父の羽織袴や母の着物を実家から持ってきました。朗々と響く声を持つ友人に見よう見まねで謡をお願いしてテープに録音しました。そしてビニールテープで髪をつくり、恐らくは先生からお借りした般若の面をつけ、オフィーリア狂乱の場面を舞ったように記憶しています。私たちの幼稚な演技にもかかわらず先生は喜んで下さり、後期は舞台を借りてそこでやりましょうということになりました。当時、能舞台を持っていた「あなごや」という料亭の舞台を借りて下さり、新聞社の記者数名に見守られ、私たちの恥ずかしい舞台が日の目を見ることになりました。お陰様で思ってもみなかった経験をさせて頂いたと思っています。

その後大学院に進学し、小説を研究対象に選んだため、演劇は趣味として見るだけになりましたが、先生の授業は今でも懐かしく思い出されます。面白いと思ったことはとことん突き詰めようとなさる先生の姿勢に、とても大きな刺激を頂いたように思います。その後先生は一貫してお能とシェイクスピアの世界の融合を目指し、そしてそれを世界に向けて発信してこられました。そのことが今回の御受章に繋がったのだと思います。先生、本当におめでとうございました。そして有難うございました。

**本合陽（東京女子大学教授）**

・上田先生 おめでとうございました。長い間世界平和のために草の根の活動を続けられて、本当にすごいと思います。改めて別紙に私論を書かせていただきます。

**松添寛之（高校英語教員、さいたま市）**

・今日のクラス会では親しくお話が出来て、叙勲のお祝いが言えて、また私も励まされて、有意義な会でした。お元気でご活躍ください。

**松藤梢（東京都）**

・「瑞宝中綬章」の受章おめでとうございました。改めて学会誌に、「能シェイクスピア研究会」のことなどを書かせていただきます。

**三上紀史（大東文化大学名誉教授）**

・おめでとうございました。心よりお慶び申し上げます。ご無沙汰ばかりしており、重ね重ね申し訳ございません。静岡大学の先生の英語の授業での様々な活動や、「英語能・ハムレット」の東京初演のことなど、大変懐かしく思い出します。お元気で益々ご活躍されますことを、お祈り申し上げます。お体をご自愛ください。

**水谷靖（岐阜信用金庫）**

・宗片兄、春の叙勲（中綬章）心より祝福致します。高校の同期生の中でも嘗てない最高の栄誉と推察します。高校の4・5年先輩、渡部昇一氏と同時綬章とは、また、何と嬉しいことか。高校同期のサクラとしても誇りに思います。ここで一つ「吾が期待の課題」を提起させていただきます。それは郷里（庄内）をモチーフにした「新才能創作」の着手です。貴兄には恐らく記憶の片隅にあるコトバと思いますが・・・。ところで、これからはしばらくは多忙の日々かと

考えますが、睡眠不足による体調管理にはくれぐれも留意されるようお願いしています。(こんなとき古き日本の風習の側メが欲しい・・・?) そうそう今ひとつ、これまで通りの御親交を願います。改めて本当に「オメデトウ」。 2015年4月29日(昭和の日・祝日)

**水原繁美 (群馬県大泉町)**

・お目出とうございます。御茶ノ水のカザルスホールでの「能・ハムレット」から、先生のシェイクスピア新作能に夢中になりました。コソコソと積み重ねられた素晴らしい作品の数々、どうぞ今後とも益々ご活躍下さいませ。・・・世界中から御祝のメールなどたくさん届いてご多忙の日々と存じます。5月13日まで御体調を整えておいてくださいませね。私はその日、東慶寺のブライズ先生に4月29日の新聞をお見せに参ります。シェイクスピアの四大悲劇その他、一昨年の「能・ポトマック桜」など新作能の制作・公演、そして世界平和を願っての「国際融合文化学会」と、長い間辛抱強く続けていらした多くのことが、宝石となってキラキラ輝いたのですね。益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

**棟居禮子 (横浜市)**

・この度はご叙勲、誠におめでとうございます。先生の益々のご活躍を期待致しております。またお店にもおいで下さいますよう。お待ち申し上げます。

**村上正文 (三島市長伏、「和食 さくら」)**

・お便り拝誦、五年前、私自身の受賞を思い出しました。拝謁の際、陛下からお言葉を給わったとのこと、本当によかったですね。学会誌記念号に何か書かせていただきますよう。

**村松眞一**

・この春の上田先生の叙勲を心よりお祝い申し上げます。思えば今日までの歳月は本当に長いものでした。少し遅すぎた観がなくありません。

まだ私たちがずっと若かった頃、静岡大学内に静岡英詩の会という、学部の垣根を越えたグループがありました。先生がハーヴァードでシェイクスピアを能で演じられないかをテーマに研究をされてくるという強いご意志を伺い、呉服町のある喫茶店の一室でその壮行会の含みもあり、能の仕舞やウェイリーによる能翻訳の紹介などのお話を先生から聞いた折の会を思い出します。それから間もなく渡米されましたが、あれからどれだけの歳月が流れたのでしょうか。帰国されてから一層自信を深められ、能舞台での公演に一步一步着実にその歩みを進められたことは、皆様ご存じのとおりです。

先生のご意志の強さは、かつて出版社北星堂の社長も感心されておりました。必ず能に仕立てられるという深い洞察と、ご意志の強さなくしては、今日の「能ハムレット」、「能リア王」などは生まれ得なかったものです。まずはお祝詞とご長寿、そして更なるご発展をお祈り申し上げます。

**村松眞一 (静岡大学名誉教授、ISHCC 名誉会員、静岡市)**

・上田先生 嬉しいお知らせありがとうございます。おめでとうございます。平和を切に願ってこられた先生の活動が認められ、平和を愛される陛下から勲章を授与される。これ以上の喜び、榮譽があらましようか。本当におめでとうございます。

**安田保 (伊東市「ブイヨン」)**

・この度のご綬章、多年にわたる先生の教育と研究への御熱心と努力が実を結んだものと心か

ら嬉しく存じます。善は急げ！と思ひまして、岡村さんや大拙館の方々や日野原先生の石清水女史に Fax や手紙で連絡しておきました。シェイクスピアは上田先生はお能で！大拙先生は英文で揮毫され！ O Wonderful, wonderful, and most wonderful! And yet again wonderful... Daisetz 日野原先生は講演では定番の語録、終わり良ければ全て良し！ 13 日の謁見等お楽しみ下さい。

柳澤暢秀（姫路市、5月1日）

・この度は、「瑞宝中綬章」を受賞との事、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。先生のこれまでのご貢献が高く評価されての事と存じます。益々のご健勝をお祈り申し上げます。今後とも、よろしくご指導ご厚誼お願い申し上げます。

山口真史、典子、元史（剛嗣）（横浜市港北区）

・瑞宝中綬章のご受賞誠にありがとうございます。先生の永年のご努力が国家的に評価されましたこと心よりお慶び申し上げます。これからもご健勝にて益々ご活躍されますようお祈り申し上げます。

山崎比紗子（大阪市、ヒサコネイル代表取締役）

・ご無沙汰していますが、何よりも貴兄の受賞、心から御喜び申し上げます。小生は健在ですが、家内が少々痛めましたので、私も介護かたがた施設に付添っています。私も早や！100歳と相成りましたが（5・21）、頗る健在！目下、介護に名を借り、私も“一休み”といったトコロです！とも角、貴兄の旺盛な“沙劇”に対する情熱には打たれます！何のお手伝いも出来ませんが、応援させてください！また逢う日まで！ 5・30

山崎有一郎（横浜能楽堂館長、ISHCC 名誉会員）

（山崎先生、100歳で「頗るご健在」、誠に誠にありがとうございます。先生には『能楽タイムズ』『東京新聞』その他の紙上にて、初期の頃よりたびたび温かい励ましのお言葉を給わり、お蔭で今日までシェイクスピア能の創作研究を続けることが出来ました。12月8日には、国立能楽堂にて、野村四郎師により、拙作『ロミオとジュリエット』を初演していただけることになりました。先生には是非ともご光来賜り、ご批評をいただきたく、お待ち申し上げております。

—— 宗片邦義）

・おめでとうございます。長年の粘り強い活動の賜物ですね。少し遅いのかもかもしれませんが、わたくしも嬉しく誇らしく思っていることをお伝えしたいとぞんじます。

山科瑩子（山形市）

・先生、春の叙勲、瑞宝中授章、ご授章まことにありがとうございました。5月3日の東京スポーツ文化館での「国際融合文化学会」での先生の「英語能ハムレット」の舞、写真におさめさせて頂きました。有難うございました。また、この度、先生のご著書『ブライズ先生、ありがとう』（三五館）を拝読致しました。拝読しながら、2003年夏の軽井沢のゼミ合宿を思い出しておりました。二泊三日の合宿では、英語能の謡が吟じられ、英詩のリズムについてのご講義があり、句会が開かれ、上田先生の恩師ブライズ先生のご紹介や思い出話等がございました。そして、句会に先立つ周辺散策では、毎年夏、鈴木大拙師や禅僧たちの「遺墨展」が開かれていたという出光の社員寮を外から拝見したりしながら、吟行を楽しみました。合宿では、こうした内容がさりげなく盛り込まれ、さりげなく進んで行きましたが、当時は、その内容の意味

するところがよくは理解出来ませんでした。あれから十余年の歳月を経た今、『ブライズ先生、ありがとう』を拝読して、その意味していたところの奥深さを知ることとなり、心打たれる思いであります。しみじみとした感慨に身を浸しながら、「上田先生、ありがとうございます」という思いで一杯になりました。先生のますますのご活躍をご祈念申し上げます。

山田敦子 (日大通信制大学院 5 期生)

・この度は大学での研究教育は言うに及ばず、能を中心とする文化振興及び国際交流の功績により、瑞宝中綬章ご綬章おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。これを契機に愈々意欲を燃やしてライフワークの完成を目指して再出発してください。益々のご活躍をお祈りしています。

由良智 (太田市)

・ご綬章おめでとうございます。この度は大変すばらしい賞に、心よりお慶び申し上げます。これからも末永く、我々の人生の師であり父であり続けていただきたいと思えます。

渡部英雄 (日大通信制大学院 5 期生・湘南工科大学専任講師)

## 返礼の言葉

上田 (宗片) 邦義

薫風の五月、皆様にはお健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、この春の叙勲に際し、思いもよらぬ「瑞宝中綬章」を戴くという栄誉に浴することになりました。これは偏に皆様からこれまでいただきましたご恩情、ご指導ご鞭撻、またご支援の賜物に外なりません。心より厚く御礼申し上げます。またさらには、お祝いやご丁寧なご祝辞や激励をいただくなど、誠に有難うございます。心より感謝申し上げます。

叙勲報道は4月29日、昭和天皇のお誕生日に行われましたが、勲章伝達は5月13日でした。午前中、東京半蔵門の国立劇場にて伝達式あり、その午後、皇居「春秋の間」にて、陛下に拝謁ということでした。文科省と防衛省関係の受章者が一緒でかなりの人数でした。私も後からついてゆくといった感じで「春秋の間」に入りました。ところが「皆さん、こちらを向いてください」と言われて左向きしたところ、私は最前列の後ろの方になりました。

ところが何と、その前の襖障子かたまりしょうじが開いて陛下はそこからお入りになられたのです。そして儀式のあと、壇上から降りられた陛下が、私が胸に持っていた『ブライズ先生、ありがとう』に気がつかれ、私の方に近づいて来られ、お言葉をかけてくださいました。「ブライズ先生について書かせていただきました」と申し上げると、「ああ、ブライズ先生」とおっしゃって、「どういう関係ですか」と訊かれました。「9年間教わりました」とお答えすると、穏やかな気品のある微笑を見せられて、軽く頷かれました。ブライズ先生は、陛下が皇太子時代、英語の家庭教師を約20年務められた方です。

その後陛下は受章者皆さんの周りをまわられ車いすの幾人かと言葉を交わされました。健常者で陛下とお話し出来たのはおそらく私一人という夢のような出来事でした。

私は昨年傘寿を迎えましたが、その傘が今年は開きつつあるということでしょうか。自重して、今後はこれまでの経験を生かし、世のため人のため、そして世界の平和のためにいよいよ活動したいと思います。皆様のご厚情ご協力をお願いいたします。

幸い、私の最新作『能・ロミオとジュリエット』を記念能としてわが学会が主催していただくことになり、そして日本能楽会会長の野村四郎師（観世流能楽師）によって来る12月8日（午後6時半開演）、東京千駄ヶ谷の国立能楽堂にて初演していただけることになりました。78歳の野村師がシテ・ロミオを舞ってくださるとのことです。その他最高の能楽師方の御出演です。作者としてこれほどの喜びはありません。どなたが観ても面白い能というのが私の新作能制作のモットーで、この作品の場合は、青春を生きる喜び、苦しみ、そして悲しみを追体験していただき、原作者シェイクスピアがこの悲劇で何を意図したか、考えていただきたいと思います。つきましては皆様には是非これまでのように、ご協力ご支援をいただきたくお願い申し上げます。

詳細は学会ホームページにて間もなくご案内できると思います。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、今後とも宜しくご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年5月31日

（国際融合文化学会会長）

<http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ISHCC/>

## Congratulatory Messages

•Dear Kuni, This is fantastic. I am so happy that you've received this award after so many years of hard work. Congratulations for that and kindest regards,

**Michel AUBANEL, France**

• Dear Munakata Ueda Sensei: Congratulations on receiving your honour. It must have been a memorable occasion. As a former tutor in English to the Emperor, I know what a pleasure it is to talk with His Imperial Majesty. We are currently travelling in France. I thought 'retirement' would be boring, but it seems busier than ever. I know that with your energy and wide interests you will never think of retiring! With all good wishes,

**Mike BARRETT, Former Representative of The British Council, Japan**

• Dear Poofessor Kuniyoshi Munakata UEDA,  
Congratulations on being awarded the Decoration with honours, 瑞宝中綬章 (Zuiho-chuuujushou) in Japanese, and meeting and speaking with The Emperor in person. It was a privilege for me to attend your lecture on the life and work of RH Blyth, which you gave in London in October 2013. Later you gave me permission to publish the

following excellent haiku of yours in the May 2014 edition of *Blithe Spirit* (the journal of the British Haiku Society):

As long as you love  
These rocks and isles of Ha Long Bay,  
Vietnam is eternal.

It was a great honour for me to have met you and published your work. Yours sincerely,

**David BINGHAM** (Editor of *Blithe Spirit*, 2013-2014), UK

• Dear Professor Ueda-Munakata, It is delightful to hear of your recent honour awarded by the Emperor. My warmest congratulations. Your lifetime's work is certainly deserving of the Decoration Ribbon at the National Theatre. I would like to extend my sincere respect to your inspired dedication and creativity to the lifelong pursuit of Noh theatre and adaptations of Shakespearean plays. This has been a visionary project and deserves the highest recognition. Further, your erudition and knowledge of the works of R.H. Blyth and Henry Thoreau are proving to be occupations that are timeless in significance and importance. I commend you on this work and wish you my heartiest support for your continuing endeavours. With my best wishes and warmest regards,

**Dr Adam BROIWNOSKI,**

**Cultural historian of modern Japan, The Australian National University**

• Dear Kuni, My warmest congratulations to you !!! How proud you must feel about this Great event ! Anyway, I feel you deserve to sit next to the highest personalities. Yes, I will write something soon. My warmest regards . Envoyé à partir de mon Windows Phone. **Marthe** • The first time that I met Mr. Munakata Ueda, something attracted my attention : his elegance. At first sight I saw him as someone delicate, polite and of graceful and cultivated taste. After a few hours talking, this first impression was never contradicted. His manner in addressing his interlocutors being always gentle and full of expression. He would take part in conversation with modest attention and persuasive arguments about his work: Shakespeare plays seen through the eyes of a distinguished Noh player such as Mr. Munakata Ueda. It seemed just great, beyond expectation. As a matter of fact, quite incredible, totally antinomic! Once again, Mr. Munakata Ueda managed to fight my prejudices against this confrontation between two worlds totally distinct to me. He made me see that the contradiction was only apparent, that it was only cultural contradictoriness. Still, I kept thinking that the Shakespearian world full of violence, bribery, treason, dramas of all sorts could not fit with Noh. However, later I actually saw Mr Munakata play Shakespeare in Noh and I was convinced. I was enchanted and impressed by his performance. I admired his perseverance, his steady pursuit of his aim: to show to the world that East and West speak in a single voice. I admired his

imagination, too: who, but him would have thought of doing such a daring juxtaposition? I realized that the magic of Noh theatre rendered the Shakespearian plots more intelligible, even more dramatic and that it gave them a tragic grandeur.

As a conclusion I wish to thank Mr Munakata Ueda for making me follow him in his intellectual adventure. Let my enthusiastic congratulations humbly join all the others from more important people than me. Moreover, I am extremely happy to think that Mr. Munakata Ueda was afforded the honour and highest reward of meeting the most illustrious, distinguished, revered person, superior in dignity to any sovereign, the Emperor of Japan and exchanging a few words with him. It is only fair that he should have been awarded the Decoration with the ribbon. He clearly deserved HIS dream like day! THANK YOU Mr. MUNAKATA UEDA!!! Envoyé de mon iPad

**Marthe-Ange FAISAN, France**

• Dear Kuniyoshi, Many deep congratulations on the news of receiving the Decoration with Honours from the Japanese Emperor! I am immeasurably happy to read the news of the announcement, and it gives me immense joy that such an accolade has been conferred upon you. If I may say, the recognition has been bestowed upon a most deserving person. I'm thrilled for you beyond words. It has been my great pleasure to work with you in a variety of capacities and collaborations over the years, and I greatly look forward to our next meeting to hear more about the decoration in person. Warmest regards and very best wishes,

**Marcus GRANDON, Lecturer, Shizuoka National University**

• Dear Professor Kuniyoshi Ueda, I heartily congratulate you on your winning a medal. Your efforts were fully rewarded. Please continue to be active and enterprising. With best wishes,

**Yoshiko KAWACHI, Professor and Editor**

• Dear Professor Munakata, Allow me to send you very warm congratulations. We felt privileged here in Manchester to witness your performance of Noh which I still remember with a smile! All the best,

**Judy KENDALL, Reader in English and Creative Writing, UK**

• Dear Mr. Kuniyoshi Munakata, president of ISHCC: I don't know how to express my admiration for the great honor you have received from the great Emperor of our country. We all know your great achievements in literature, your work in integrating the Noh and Shakespeare, your work in bringing Professor Blyth's spirit and essence to Japan, and your work in teaching your students the spirit of mutual human understanding. On 13<sup>th</sup> of May, you even had a chance to exchange words with the Emperor! That's wonderful. You deserve all the honor for your great achievements. Congratulations! Many of your friends overseas too must be very happy about your receiving the great honor. I know the late Mr. Jumpei Nakatsuchi of Hokuseido Press must have been proud of you, if he were alive!

Congratulations, Mr. Kuniyoshi Munakata!

**Naoshi KORIYAMA, Professor Emeritus of Toyo University, Poet**

• My warmest congratulations. You were fortunate indeed. I am happy you continue to receive more and more recognitions. Thanks for letting me know. Cheers,

**Luther LINK, Professor, Aoyama Gakuin University**

• Warmest congratulations on your honour, which of course was thoroughly and deeply deserved for a lifetime's work extending and upholding Japanese culture. As you know, I personally have very good reason to be grateful to you, for your introductions to the Noh, to the writings of R. H. Blyth and to a career in university teaching. For all of these, my abiding gratitude; Fumi also sends her warmest regards and congratulations. Yours,

**Ciaran MURRAY, Professor emeritus of Chuo University.**

• Dear Kuniyoshi, What a great honour. I am delighted to hear about this. My best wishes from Chester, **Allan** • Dear Kuniyoshi, Very good to hear that your new Noh script "Noh: Romeo and Juliet" Japanese version will be premiered by the leading Kanze school performers at the National Noh Theatre in Tokyo. You know you are always welcome in Chester when you are in the UK. My best wishes,

**Allan OWENS, Professor, University of Chester, UK**

• Dear Kuni, Emiko said us the great information of your reward. We are very happy for you. It was a great opportunity for us to get initiated with NOH theater thanks to you. Sincerely,

**Jean Claude et Anne Marie SAINT MARC, France**

• We are sincerely very happy for you. You have been distinguished rightly for your value. Probably it was very impressive to talk with the Emperor ! We send you a short essay for the ISHCC (in french !). We have also sent it to Emiko for translation. Yours,

**Jean-Claude et Iku BAUMIER, France**

• Congratulations! Yes, I remember "Thank you, Professor Blyth" as a wonderful book and that my student-assistant was also impressed by it. I am also impressed to know that you spoke with the Emperor and confirmed how that professor gave influence on him. Thank you for sharing the wonderful news to us.

**Masae SUZUKI, Professor, Kyoto Sangyo University**

• Dear Kuniyoshi, What splendid news, we congratulate you on the great honour you have received.

**Walter and Rosemary THOMSON, Evesham, UK**

## Messages from French Friends フランス人の友人たちからのメッセージ

Passionnés par la civilisation japonaise, nous avons eu la chance de faire la connaissance de Maître Kuniyoshi Ueda lors d'un voyage en 2012. Nous avons vite sympathisé et parlé du Théâtre Nô qui nous apparaissait, comme c'est parfois le cas en Occident, aussi fascinant que mystérieux et hermétique. Maître Ueda nous a expliqué avec son ouvrage « Noh adaptation of Shakespeare » les caractères de cet art codifié et nous a montré que celui-ci pouvait intégrer une œuvre dramatique d'origine étrangère. Nous avons été immédiatement séduits par un tel projet. Aussi lorsque le Maître est venu présenter en France, à Monaco et à Cannes, de larges extraits de son adaptation de « Hamlet » de Shakespeare, nous avons apprécié, ainsi que tous les spectateurs présents, l'originalité de la démarche, l'efficacité de l'adaptation et l'enthousiasme du Maître dans sa volonté de montrer, par-delà les frontières, la valeur universelle et éternelle du Théâtre Nô. Par la suite, en 2014, Maître Ueda a eu l'extrême gentillesse de nous faire assister à un autre spectacle Nô, au Théâtre National de Tokyo, où la tradition de cet art remarquable est préservée.

Nous sommes heureux et fiers de nous compter parmi les admirateurs de Maître Kuniyoshi Ueda et, à l'occasion de la prestigieuse distinction qui lui a été accordée le 13 Mai 2015, nous tenons à le féliciter et à lui témoigner notre respectueuse admiration.

Maître Ueda nous a parlé récemment d'autres projets d'adaptation de l'œuvre shakespearienne. Nous attendons avec impatience que ceux-ci puissent se concrétiser !

私達は日本文化に深く傾倒しています。2012年のモナコでの上田先生の「能ハムレット」公演の際にお会いして「能」についてのお話を聞き感銘しました。西洋において「能」は魅力的ではありますが、どちらかと言えば謎めいた難解なものです。上田先生の「シェイクスピア能」の独特で体系化された表現は、外国人にも劇的な作品として受け入れられます。私達はたちまち先生の国境を越えた新作能「ハムレット」の魅力に憑りつかれました。モナコとカンヌでの観客達も同じ様に感じていたと思います。先生の情熱、意思が込められた世界的な能の世界です。私達が2014年に日本へ行った時には、ご一緒に国立能楽堂で伝統的な能舞台を鑑賞することが出来、深く感動しました。

今回の2015年5月13日の先生の叙勲に私達も誇りを感じると共に、とても喜んでます。お祝いを申し上げ、尊敬の気持ちをお伝えしたいと思います。

先生は現在、大きな新作能のプロジェクトに取り組んでいると伺いました。それが近いうちに実現されることを心から念願しています。

(Anne-Marie et Jean-Claude SAINT MARC :カンヌ市近郊在住)

Robert se joint à moi pour te féliciter chaleureusement pour cette haute distinction que tu mérites amplement. Ce grand honneur récompense ton travail et tes activités exemplaires pour faire mieux connaître les oeuvres de Shakespeare au monde culturel de ton pays. Avec notre très amical souvenir.

先生の友達としてロベルトと私、ニコルはこの度の叙勲に熱くお祝いの気持ちを示したいです。それだけの功績は十分に積み重ねてきたと思います。このすばらしい名誉は今までの仕事、活動に報いるものです。新作能を通して世界的なシェイクスピアの作品を日本や外国でより良く知ってもらうための優れた表現です。我々の先生との深い友情ある思い出を込めて。

(Nicole et Robert SCHMIDT : 南仏在住)

Je t'adresse du fond du coeur toutes mes félicitations, quel grand honneur pour toi d'avoir été décoré par l'empereur du Japon, une grande distinction très méritée tout à ton honneur cher M. Ueda. Amicales pensées

心からこの度の叙勲にお祝いの気持ちをお贈りします。天皇陛下から勲章をいただくというのは、何と素晴らしい栄誉でしょう。上田先生の功績があつてこそこのことです。友情をこめて。

(Marie-Christine : ドイツ在住)

## THANKS to the Congratulations

Kuniyoshi Munakata UEDA

Dear Friends,

I was very happy to tell you that I was awarded the Decoration with Honours, 瑞宝中綬章(Zuiho-chuujuushou) in Japanese, by the Emperor this spring. I thank you from the bottom of my heart for your kind help, cooperation, and assistance with my activities throughout my life. Also, I am very thankful for your kind and encouraging congratulatory messages.

On the 13<sup>th</sup> of May, after receiving the Decoration with the Ribbon at the National Theatre in Tokyo, the other award recipients and I moved by bus to the Imperial Palace. In the "Spring and Autumn Room" where we were supposed to meet the Emperor, I held my book *Thank you, Professor Blyth* on my breast. After the ceremony, the Emperor approached me and asked me a question about the contents of the book. So I answered, "I wrote this book on Professor Blyth." Then he said, "Ah, Professor Blyth." He then asked me about my relationship with the Professor. So I answered, "I studied with him for nine

years.” Then, he smiled and nodded gently.

Honorably, I may have been the only person there, with the exception of several people with disabilities, who talked personally with the Emperor among the few hundred recipients. So, the day was a very special dreamlike day for me!

Frankly, I had a dream several months ago. I was being seated with one more person with the Emperor; the Emperor was on my left side; he said nothing in the dream.

Incidentally, it is not widely known even in Japan that Professor Blyth was a private tutor to then Crown Prince Akihito, the current Emperor, for almost twenty years from 1946 to 1964. Nor is it known in Japan that R.H. Blyth’s *HAIKU* books spread “Haiku” all over the world, or that his *Zen in English Literature* is included in a group of Zen books that contributed greatly to the introduction of Zen overseas.

Here is another piece of good news to tell you. My new Noh play “Romeo and Juliet” Japanese version will be premiered by Master NOMURA Shiro of Kanze school, the President of Japan Noh Society, on the 8<sup>th</sup> of December this year, starting at six thirty p.m. at the National Noh Theatre at Sendagaya in Tokyo. He will take the leading role, Romeo. So, will you please visit the home page of ISHCC (International Society for Harmonization of Cultures and Civilizations) from time to time and create some spare time to enjoy the play at the Kokuritsu Noh-gakudo 国立能楽堂 in Tokyo?

**Kuniyoshi Munakata UEDA, PhD**

Professor Emeritus, Shizuoka National University

President, The International Society for Harmonization of Cultures and Civilizations

URL: <http://atlantic.gssc.nihon-u.ac.jp/~ISHCC/>